

中秋の名月 未来館でお月見！2017

9月13日(水)～10月6日(金)開催

日本科学未来館(略称:未来館、館長:毛利衛)は、2017年9月13日(水)～10月6日(金)の期間「中秋の名月 未来館でお月見！2017」を開催します。

毎年恒例の本イベントでは、未来館のシンボル展示「Geo-Cosmos(ジオ・コスモス)」に、月周回衛星「かぐや」が捉えた月面のデータを加え、月の姿を映し出します。未来館でしか味わえない、全球の「お月見」をお楽しみいただけます。



また、今年のイベントでは、土星の衛星に焦点をあてたパネル展示とミニトークも実施します。私たちにとって馴染み深い「月」は、地球が持つ唯一の衛星です。しかし、太陽系に目を向けてみれば、火星や木星、土星などは複数の衛星を持っており、近年それらの姿や多様性が少しずつ明らかになってきました。とくに、9月15日に役目を終える土星探査機「カッシーニ」によって詳しく調べられてきた、62個もある土星の衛星には大きな注目が集まっています。

ジオ・コスモスでの月の上映、パネル展示、ミニトークの3つを通して、月について新しい視点で考える本イベント。子どもから大人まで月の持つ天文学的な意味に触れることができる内容です。是非、貴媒体にてご掲載、ご取材いただけますよう宜しくお願いいたします。

■イベント■

1. The Moon on Geo-Cosmos ～ジオ・コスモスでお月見～
2. パネル展示：62の「月」が織りなす多彩な世界～土星探査機「カッシーニ」が見たリングと衛星群
3. サイエンス・ミニトーク：土星の衛星タイタンから探る太古の地球のナゾ

※イベントの詳細は次頁をご参照ください。

■概要■

開催期間：2017年9月13日(水)～10月6日(金) ※火曜は休館日

開催場所：日本科学未来館 (住所:東京都江東区青海 2-3-6)

開館時間：10:00～17:00(入館券の購入は閉館30分前まで)

入館料：大人 620円、18歳以下 210円 / 団体(8名以上) 大人 490円、18歳以下 160円

※6歳以下の未就学児は無料/土曜日は18歳以下無料/障がい者手帳所持者は本人および付き添い者1名まで無料
 ※企画展「ディズニー・アート展 いのちを吹き込む魔法」は、大人1,800円、小学生～18歳以下1,200円(土曜日は1,100円)、3歳～小学生未満 600円、企画展チケットで常設展もごらんいただけます。

金曜日、土曜日、祝前日(8月10日、9月17日)、お盆期間(8月13日～15日)は、企画展のみ開館時間を21:00まで延長いたします。

Webページ：<http://www.miraikan.jst.go.jp/event/1708022221777.html>

一般からのお問い合わせ先	本件に関するお問い合わせ先
日本科学未来館 〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 TEL:03-3570-9151 FAX:03-3570-9150 URL http://www.miraikan.jst.go.jp/	日本科学未来館 事業部 展示企画開発課 広報普及担当 EMAIL: press@miraikan.jst.go.jp TEL:03-3570-9192 FAX:03-3570-9150

[イベント詳細]

1. The Moon on Geo-Cosmos ～ジオ・コスモスでお月見～

直径約6mの球体ディスプレイ「Geo-Cosmos」に、月周回衛星「かぐや」が捉えた月の表面データを全球で映し出します。地上からは見ることのできない月の裏側も含めた、昼間の「お月見」をお楽しみいただけます。

■上映時間： ①10:50、②11:50、③12:50、④13:50、⑤14:50、⑥15:50
各回 約5分間

■場 所： 日本科学未来館 1～5階「地球とつながる」内
ジオ・コスモス



2. パネル展示

62の「月」が織りなす多彩な世界～土星探査機「カッシーニ」が見たリングと衛星群

土星には、62個もの個性豊かな衛星が発見されています。中には、地球に似た気象現象が見られる「タイタン」や、深海と似た環境をもち生命の存在も考えられる「エンケラドゥス」など、興味深い特徴を持つものもあります。本パネル展示では、土星探査機「カッシーニ」がたどった軌跡とともに、土星の衛星やリング誕生の話、そして特に注目されている2つの衛星について紹介します。

■開催場所： 日本科学未来館 5階「世界をさぐる」内

3. サイエンス・ミニトーク

土星の衛星タイタンから探る太古の地球のナゾ

厚い大気で覆われている、液体の湖がある、砂丘が広がっている——そんな地球に似た環境を持つ土星の衛星が「タイタン」です。タイタンと地球を比べると、太古の地球の環境や、生命の誕生した様子を理解する手がかりが見つかるかと期待されています。本サイエンス・ミニトークでは、パネル展示では伝えきれないタイタンの魅力を、最新の研究成果とともに深掘りしていきます。

■開催時間： 平日：11:30～11:45、土日祝：15:30～15:45
※9月17日(日)、23日(土)、24日(日)は平日と同じ時間に実施

■開催場所： 日本科学未来館 5階「世界をさぐる」内 コ・スタジオ

■参加方法： 事前申込み不要。直接会場にお越しください。

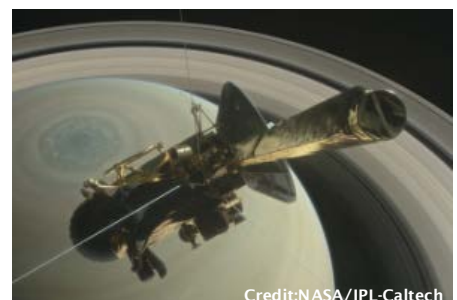


■土星探査機「カッシーニ」とは

「カッシーニ」は、2004年より土星を周回している、アメリカ航空宇宙局(NASA)と欧州宇宙機関(ESA)の土星探査機です。多くの科学的成果を残してきたカッシーニは、最終ミッション「グランド・フィナーレ」を全うした後、9月15日にその役目を終えます。

■土星の衛星とは

「衛星」とは惑星の周りを回っている天体を指します。地球の周りを回っている「月」は、地球の衛星です。土星の周りを回る天体、すなわち衛星は、「タイタン」や「エンケラドゥス」をはじめとして現在62個見つかっています。



Credit: NASA/JPL-Caltech